

【2020.12.2 発信 VOL43】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.43は、以下の内容でお届けします。

- 師走を迎えて
 - 新たな土地改良長期計画の概要（中間とりまとめ案）について
 - 農業農村整備の集いについて
 - 参議院議員進藤金日子と農山漁村を考える会の開催について
 - 新しい農村政策の在り方に関する検討会について
 - 長期的な土地利用の在り方に関する検討会について
 - 各種講演を精力的に実施
 - 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
 - 活動状況（2020.11.1～2020.11.30）
-

■ 師走を迎えて

参議院議員進藤金日子です。

・今年も残り1月となりましたが、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス感染症」）が猛威を振るっております。コロナ対策は、これまでと同様に「マスクの着用」「3密の回避」「手洗い・消毒」など基本的な感染対策の徹底と「静かなマスク会食」に取り組む必要があります。

・今月は、令和2年度3次補正、令和3年度当初予算の政府案が閣議決定されます。予算・税制、その一つ一つが国民生活には欠かせない重要なものです。

・特に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災・国土強靱化と災害からの復旧・復興、そして農林水産業、農山漁村の振興に必要な予算をしっかりと確保できるよう全力で取り組んで参ります。

・今年を振り返ると、なによりも新型コロナウイルス感染症が日本の社会はもとより世界を一変させました。併せて豪雨災害も多発し、余りにも大きな悲しみや不安をもたらしています。この最大のピンチの克服に全力を尽くして参ります。

・皆様方におかれましては、新型コロナウイルスのみでなく、季節柄インフルエンザにもくれぐれも注意されるなど健康にご留意の上ご自愛下さい。

■ 新たな土地改良長期計画の概要（中間とりまとめ案）について

- ・農水省は、新たな土地改良長期計画の中間取りまとめ案を示しました。
- ・農業・農村の目指すべき姿の実現に向け、土地改良事業を計画的・効果的に

実施するため、3つの政策課題に対応した5つの政策目標を定め、重点的に取り組む施策を取りまとめられました。

・達成すべき重点目標としては、

(1) 生産基盤の強化による農業の成長産業化の達成すべき重点目標として、①担い手の米の生産コストの削減、②スマート農業実装の加速化、③高収益作物への転換による産地収益力強化。

(2) 多様な人が住み続けられる農村振興の達成すべき重点目標として、①再生可能エネルギー導入による施設の維持管理費の低減、②地域共同活動による、農地・農業用水等の保全管理。

(3) 農業・農村の強靱化の達成すべき重点目標として、①防災重点農業用ため池に係る防災工事等の集中的かつ計画的な推進、②流域治水の推進、③農業水利施設の戦略的な保全管理の徹底、が盛り込まれています、来年3月に閣議決定される予定です。

※資料等は以下のアドレスから参照願います。(農水省 HP リンク)

https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/r02_1119/siryou.html

■ 農業農村整備の集いについて

・11月20日、令和3年度予算確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催されました。今年の集いは、新型感染症対策を徹底した関係で例年と比べ大幅に規模を縮小しての開催でした。

・二階俊博全国水土里ネット会長からは、先の通常国会で成立した防災重点ため池の特別措置法に基づく対策の実施など土地改良の一層の推進と予算確保に向けた結束が呼び掛けられました。

・野上農林水産大臣、佐藤総務会長、森山国対委員長、塩谷農林・食料戦略調査会長、西川内閣官房参与からも力強い、ご支援の御挨拶をいただきました。

・私からは、全国水土里ネット会長会議顧問として、予算確保に向けた意思統一の必要とともに、ため池工事特措法、全国水土里ネット女性の会の活動などに触れながら、土地改良推進の重要性を訴えました。

・同志の宮崎雅夫参議院議員からも予算確保に向けた決意など力強い挨拶がなされました。

・その後、要請文の提案と採択、女性の会の事例発表が行われ、参加者は「ガンバロウ」の発声に替え拍手で閉会し、関係省庁へ要請活動を行いました。

・集い閉会后、武田総務大臣への要請に同行しました。集いで全国の皆さんの熱い思いを受け止め、宮崎議員と共に年末の予算案決定に向け精一杯取り組んで参ります。

■ 参議院議員「進藤金日子と農山漁村を考える会」開催について

・11月20日、コロナ対策を万全に施した上で「進藤金日子と農山漁村を考える会」を開催しました。

・考える会は二部構成とし、一部では末松広行前農林水産事務次官から「これ

からの農山漁村の政策の方向」と題して講演を行っていただき、その後、私との対談を行いました。農林水産政策について、本当に有意義な企画だったと思います。

・二部では二階俊博自民党幹事長をはじめ多くの先生方から、心温まる激励の御挨拶を賜りました。また、全国の多くの皆様からも心温まる御心遣いと激励を賜り、厚く御礼を申し上げるとともに、心から感謝を申し上げます。

・私の政治信条である「土地改良と農山漁村は日本の命綱」を心魂に刻み、今回の考える会を契機に心機一転、全力で取り組みを進める覚悟です。

・考える会をお支えていただいた後援会の皆様、先輩諸氏に心から感謝を申し上げます。また、スムーズな司会進行を行なっていただいた宮崎雅夫議員に感謝です。

■ 新しい農村政策の在り方に関する検討会について

・新しい農村政策の在り方に関する検討会は、第6回検討会が開催されました。

※資料等は以下のアドレスから参照願います。(農水省 HP リンク)

https://www.maff.go.jp/j/study/nouson_kentokai/farm-village_meeting.html

■ 長期的な土地利用の在り方に関する検討会について

※資料等は以下のアドレスから参照願います。(農水省 HP リンク)

https://www.maff.go.jp/j/study/tochi_kento/index.html

■ 各種講演を精力的に実施

・11月4日、山形市で開催された「山形県土地改良大会」において、「最近の農政を巡る状況」と題して、補正予算を含めた今後の予算の動向について、講演を行いました。

・11月7日、諫早市で開催された「長崎県農業農村整備事業推進大会」において、「最近の農政を巡る状況」とともに予算確保に向けた道行きについて、講演を行いました。

・11月14日、熊本市で開催された「耕親会(熊本県庁土地改良部局と熊本県土連のOB会)」において「最近の農政を巡る状況について」と題して講演を行いました。

・11月15日、北海道稚内市で開催された「自民党政経セミナー」において「農林水産政策の最近の状況」と題して講演を行いました。

・11月24日、京都市で開催された「京都府土地改良区役職員等研修会」において「農政と農業農村の展開方向について」と題して講演し、意見交換会を行いました。

・11月30日、北海道札幌市で「土地改良セミナー」が開催され、ビデオ収録で講演しました。参議院本会議のため出席できず、北海道の皆様にはご迷惑をおかけしました。

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

(首相官邸ホームページ)

http://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_index.html

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(国立感染症研究所ホームページ)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

■ その他の情報

・「参議院議員進藤金日子 国政の歩み」を発行しました。

「参議院議員進藤金日子 国政の歩み (VOL.3)」を発行しました。ご希望される方は国会事務所まで連絡ください。

=====